

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【公表番号】特表2007-521764(P2007-521764A)

【公表日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【年通号数】公開・登録公報2007-029

【出願番号】特願2006-534311(P2006-534311)

【国際特許分類】

H 04 B 7/26 (2006.01)

H 04 J 3/00 (2006.01)

H 04 J 3/06 (2006.01)

【F I】

H 04 B 7/26 N

H 04 J 3/00 H

H 04 J 3/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月1日(2007.10.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

トランシーバによる通信方法であって、

システム不在グループ環境においてグループの一部である移動体トランシーバから同期情報を受信する同期情報受信工程と、

同期情報を用いて移動体トランシーバに同期する同期工程と、

所定の期間が経過するより前にグループの別のデバイスが発信を開始する場合、別のグループ休止期間が所定の期間を超えることが検出されるまで確立された同期をグループが維持するように、グループ内の伝送の中斷に続く所定の期間に渡ってグループ活動が検出されなくなるまで移動体トランシーバとの同期を維持する同期維持工程とからなる方法。

【請求項2】

同期情報受信工程はタイミングオフセット及び周波数オフセットを受信する工程を含む請求項1に記載の方法。

【請求項3】

移動体トランシーバと同期されたタイムスロットにてプレアンブルを含む伝送要求を発信する工程を含む請求項1に記載の方法。

【請求項4】

伝送要求は同期情報を含む請求項3に記載の方法。

【請求項5】

同期されたタイムスロットをランダムに選択する工程を含む請求項3に記載の方法。

【請求項6】

トランシーバによる通信方法であって、

システム不在グループ環境において複数のトランシーバにグループを形成する同複数のトランシーバとのグループ同期を確立させる同期情報を発信する同期情報発信工程と、

所定の期間が経過するより前にグループのトランシーバのうちの1つが別の発信を開始する場合、別のグループ休止期間が所定の期間を超えることが検出されるまで確立された

同期をグループが維持するように、グループ内の伝送の中斷に続く所定の期間に渡ってグループ活動が検出されなくなるまで同複数のトランシーバとの同期を維持する同期維持工程とからなる方法。

【請求項 7】

同期情報発信工程はタイミングオフセット及び周波数オフセットを発信する工程を含む請求項6に記載の方法。